

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 学習評価の充実推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 義務教育課 小中教科教育係 電話番号：058-272-1111(内8593)

E-mail：c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,174 千円 (前年度予算額：2,174 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,174	751	0	0	0	0	0	0	1,423
要求額	2,174	827	0	0	0	0	0	0	1,347
決定額	2,174	827	0	0	0	0	0	0	1,347

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・学習指導要領全面実施（R2小学校、R3中学校）に伴い、新たに3観点での学習評価が始まり、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る「指導と評価の一体化」の実現が求められている。
- ・教育課程研究協議会でのアンケート結果等より、指導改善につながる学習評価の充実推進を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・「指導と評価の一体化」推進校を、教育事務所と義務教育課担当主事が、年間を通じて継続的に学校を支援するとともに、実践事例の成果普及を通して県内各学校の指導改善と学習評価の充実を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	63	推進校研修会・実践交流会
旅費	591	推進校研修会・実践交流会、推進校訪問
消耗品	1,520	書籍、学習者用デジタル教科書
合計	2,174	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
 施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
 8 未来を創る基礎となり、社会で生きる学力の育成

(2) 国・他県の状況

国としても、学習指導要領全面実施に伴い、「指導と評価の一体化」の実現が必要であるとされている。

(3) 後年度の財政負担

市町村教育委員会を指導する立場である県が負担する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内全体の指導改善及び学習評価の充実を図るため、県として有効な指導及び評価方法を示す必要があるため。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全ての教員が、児童生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、児童生徒が学習したことの意義や価値を実感できるようにする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
全国学力・学習状況調査学校質問紙調査「学習評価の方針を示した上で、児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか」で「よく行った」と回答した学校の割合	小学校 26.6% 中学校 42.1%		小学校 30% 中学校 50%	小学校 40% 中学校 55%	小学校 50% 中学校 60%	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	学習指導要領全面実施により、新たな観点での学習評価が始まったため。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	推進校の研究実践を進める中で、うまくいった事例、実践の整理・検証によって明らかになった成果を広く示すと共に、学習評価を行う上で難しい点、困った点等も共有し、実践の改善につなげている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	市町村及び教育事務所と密に連携し、事業の効率化を図る。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 指導改善につながる学習評価の充実推進を図る。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新たな3観点での学習評価が県内に浸透するまで取り組むべきである。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】